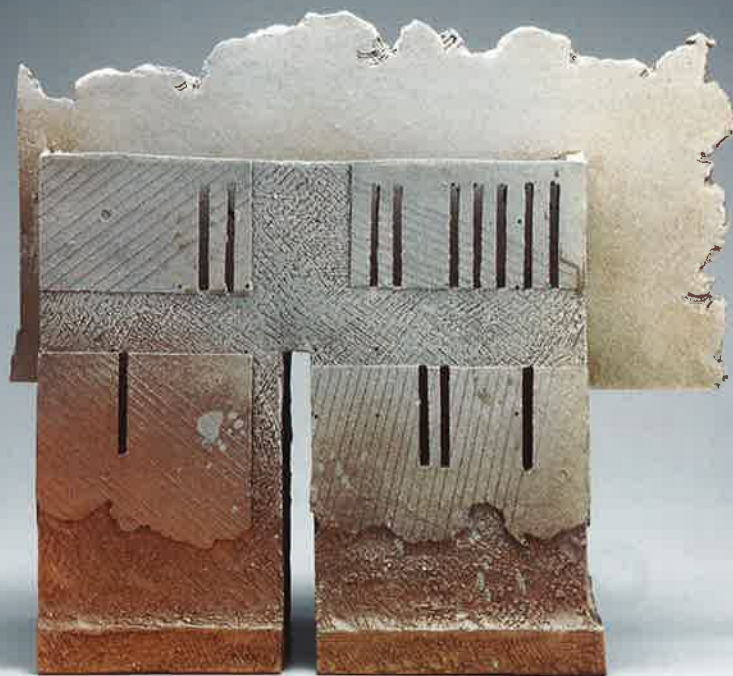




鈴木 五郎「織部手付皿」個人蔵



亀井 勝「風物語・再び」個人蔵



加藤 令吉「標II」個人蔵

名工たちの 熱き戦い

2016年10月29日(土)~12月18日(日)



太田 公典「岩絡文壺」個人蔵

会場	爲三郎記念館 (古川美術館 分館)
開館	午前10時~午後5時 (最終入館は午後4時半)
休館日	月曜日 ※11月5日・6日は国民文化祭「問香会」の会場となるため、記念館のみ11月4日13時から11月6日にかけて臨時休館とさせていただきます。
主催	公益財団法人 古川知足会 / 瀬戸陶芸協会
協賛	東海東京証券株式会社
後援	愛知県教育委員会 / 名古屋市教育委員会 / 瀬戸市 / 瀬戸市教育委員会 / グリーンシティケーブルテレビ株式会社 スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
関連事業	第31回国民文化祭・あいち2016

分館 爲三郎記念館

FURUKAWA Art Museum
公益財団法人 古川知足会

名工たちの熱き戦い



長江 重和「別なりのかたち」個人蔵



水野 教雄「薫風」個人蔵



加藤 作助「縞部条紋花器」個人蔵

千年の間、やきもの作りを連綿と続けてきた瀬戸では、様々な作家がその時代に合わせ、やきものの発展を願い、試行錯誤を繰り返して、現在の一大産地となりました。18世紀には瀬戸の礎を構築した名工たちが日用品とは異なった陶芸の世界を展開し、明治期には西洋文化が享受され、さらに産業技術の発展が手助けとなり瀬戸は大きく発展します。そうした中、明治中期に、全国でもいち早く陶芸家たちを育成する学校が開校し、昭和には作家たちで構成された陶芸家集団が立ち上がり、発表の場を積極的に設けてきました。そうして現在の日展において工芸部門の設立時には作家の多くが出品し、特に戦後の瀬戸は「日展の瀬戸」といわれるほど、造形性の富んだ作品が生み出されました。現在、瀬戸の陶芸の中心である瀬戸陶芸協会とは、こうした時代背景のもと藤井達吉の「芸術は産業の母体である」といった理念を軸に発足された設立80周年を迎える歴史ある協会です。協会の活動の中心は、作家個人の技術面の向上もさることながら伝統の上に立つ新しい感性の構築です。こうした研鑽を積む作家たちの技によって協会は現在もなお積極的に活動を続けています。本展では、瀬戸陶芸協会の協力のもと、瀬戸で活躍する作家たちの作品を紹介します。設立80周年を記念した展覧会は、今春に瀬戸市美術館を筆頭に、その後東京も巡回し、フィナーレとして為三郎記念館で開催されます。和菓、造形、土、窯と様々な研究を続ける作家の熱き戦いをご覧ください。

関連 イベント

出品作家によるアーティストトーク

出品作家を代表して瀬戸陶芸協会理事の方々による作品解説です。

日時 | 10月29日(土) 加藤圭史、滝川幸志、長江重和
 11月19日(土) 梅本孝征、太田公典、亀井幸一、谷口幸二
 12月3日(土) 竹内真吾、田沼春二、水野教雄
 12月17日(土) 岩瀬幸治、近藤功次、棚橋淳、宮地生成
 各日 14:00～(60分予定)

参加費 | 無料(展覧会チケットが別途必要) 会場 | 為三郎記念館邸内

さんじゅ 傘寿茶会

瀬戸陶芸協会80年の歴史を改めてご紹介するとともに、瀬戸の陶芸家で作った茶道具と当館所蔵の道具揃いで、瀬戸陶芸の魅力を感じていただきます。瀬戸陶芸協会役員のか藤唐三郎、加藤令吉、波多野正典が席主を務めます。流派不問。お気軽にどなたでもご参加ください。

日時 | 11月3日(木・祝) 1席目 10:30～ / 2席目 11:30～ / 3席目 13:30～
 4席目 14:30～ / 5席目 15:30～

定員 | 各席20名(先着順) 会場 | 為三郎記念館邸内 ひさごの間(座礼)
 参加費 | 2,000円(展覧会チケットが別途必要) 申込み | 電話、フロントにて受付
 席主 | 加藤唐三郎、加藤令吉、波多野正典(五十音順)

美術バスツアー 作助窯絵付け体験付 「瀬戸市美術館 服部館長と巡る瀬戸・赤津窯の里」

やきものの里として有名な瀬戸市赤津を瀬戸市美術館館長・服部文孝と巡るツアーです。あわせて加藤作助が当主の作助窯で絵付け体験も致します。

日時 | 11月24日(木)
 定員 | 40名(先着順)
 参加費 | 一般 9,500円(猿投温泉入泉付)
 バスポート会員 9,000円(猿投温泉入泉付)
 申込み | 電話、フロントにて受付
 旅行実施 | (株)トラベルコンシェルジュ
 愛知県知事登録旅行業2-1286号

※詳細については美術ツアーチラシをご覧ください。
 ※作品は後日引き渡しとなります。

〈当日のスケジュール〉

9:00	古川美術館出発
10:00	瀬戸美術館到着・見学
11:45	昼食(猿投温泉弁当)
13:00	赤津窯の里巡りと作助窯で絵付け体験・工房見学
15:40	猿投温泉(休憩・入泉)
16:40	猿投温泉出発
17:30	古川美術館着(予定)

ワークショップ 「出品作家と器を作ろう！」

瀬戸市無形文化財保持者である加藤唐三郎、水野教雄を講師に迎え、2種類の作品(皿)を作ります。

日時 | 11月27日(日) / 12月16日(金) 各日 13:00～16:00
 講師 | 前半 加藤唐三郎 / 後半 水野教雄 ※各々1時間半(予定)
 定員 | 各日16名

参加費 | 3,000円(展覧会チケットが別途必要) 会場 | 古川美術館 3階会議室
 ※作品は後日引き渡しとなります。

〈前半〉

加藤唐三郎先生指導のもと、素焼き前の皿に文様を彫ったりスタンプして柄を付けます。



〈後半〉

水野教雄先生指導のもと、練り込み技法で市松文様の小皿を作ります。



第31回国民文化祭・あいち2016



第31回国民文化祭・あいち2016 文化庁国民文化祭事業

いこう いこう 皆で行こう 親子の「お香の祭典」

香道二大流派、志野流と御家流の家元・宗家を招き、家元・宗家の直接指導により香席を開催します。その他、下記の通りお香にまつわる様々なイベントを用意しております。ぜひこの機会にお香をお楽しみください。

日時 | 11月5日(土)・6日(日)
 参加費 | 無料(展覧会チケットが別途必要・一般1,000円)
 会場 | 古川美術館、為三郎記念館
 主催 | 文化庁・愛知県・第31回国民文化祭愛知県実行委員会・公益財団法人お香の会
 協力 | 公益財団法人古川知足会 古川美術館

申込み | 「公益財団法人 お香の会事務局」まで
 ハガキ又はFAXで参加希望のイベント名を記載の上
 ①お名前 ②ご住所 ③電話番号 ④参加人数 ⑤ご希望の日と時間を
 ご記入の上お申込みください。折り返し参加証をお送りします。
 〒630-8563 奈良市西ノ京町457薬師寺内
 TEL:0742-33-6001 FAX:0742-33-6004



「お香席」

時間 | ひさごの間 1席目 10:30～ / 2席目 13:00～ / 3席目 14:30～
 <大桐の間> 1席目 11:00～ / 2席目 13:30～ / 3席目 15:00～
 定員 | 1席あたり定員30人 会場 | 為三郎記念館
 ※お申し込みの際は、希望日、部屋名と共に席数をお申し付けください。
 ※11月5日は志野流家元、11月6日は御家流宗家が指導。

「お香のお話」

時間 | 11:00～ / 14:00～
 講師 | 公益財団法人お香の会理事(予定)
 定員 | 1回あたり定員24名
 会場 | 古川美術館 3階会議室
 ※お申し込みの際は、ご希望の日付と時間をお申し付けください。

「一炷聞香体験と文香づくり体験」

時間 | 適宜
 (お香のお話開催時は除く)
 会場 | 古川美術館 3階会議室